

発見! 東北グルメ

歩No.8
居酒屋一
JR多賀
城駅から歩
いて15分弱。
産業道路沿
いに一步は
あります。
夜になると
明かりも少
ない通りを
照らし、仕
事から帰り
の人がお店

を見て「多賀城に帰つ
てきた」とほつとして
もらいたい、オーナー
の並木さんのそんな思
いがつまつたお店です。
昼はからあげ定食屋、
夜は居酒屋として営業
しています。今回いた
だいたのはお昼のから
あげ定食。800円で
汁おかわりし放題。
一口では

食べきれない大きなから
あげは、かんだとき
の触感やジューシーさ
にもこだわった自慢の一
品です。醤油の香ば
しさにごはんも進みま
す。このボリューム、
このおいしさ、この価
格は大食漢の方も満足
すること間違いなし。
ぜひ、一度足を運んで
みてください。



作業終了後には、
高橋さんと参加者が
高橋さんの考える事
業に関して意見交換
を行われました。今
後もこのような時間
を設け、高橋さ
んの事業を後押
ししていきたい
と思います。

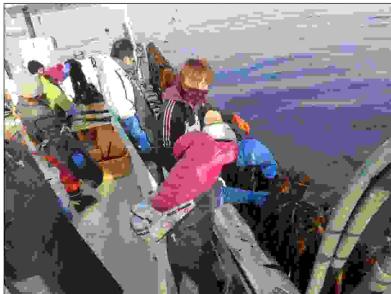
荒沢神社は今から約
1200年前の貞觀
年間に大和國龍田
社より勧請され創建
された歴史ある神社
です。寄付金は、拝殿
や扉、神樂殿の床と
建具、賽銭箱の修繕
なされました。

復興応援団とWCR
Pは、今回の荒沢神
社への寄付を皮切り
に、今後も被災地の
寺院・神社の復興支
援に取り組んで参り

ワカメの収穫体験

漁業&フルーツリズム開発応援プロジェクト#7

(南三陸・泊浜)



3月下旬はわかめ
収穫の最盛期とい
うこともあり、わか
め

をしてきました。成長したわかめは人の背丈以上の大きさになります。海から引き上げられ、目の前に並ぶたくさんの巨大なわかめを高橋さ

高橋さんがわかめと
めかぶを参加者にふ
るまつてくれました。
取れたてめかぶの塩
ゆでと、わかめのサラダは絶品で、参加者の皆さんもその味

に感動していた様子
です。作業終了後には、
高橋さんと参加者が
高橋さんの考える事
業に関して意見交換
を行われました。今
後もこのような時間
を設け、高橋さ
んの事業を後押
ししていきたい
と思います。

（WCRP）スタッフが現地に赴き、神社の修復状況について荒沢神社禰宜遠藤様からのご説明を頂きました。荒沢神社は今から約1200年前の貞觀年間に大和國龍田社より勧請され創建された歴史ある神社です。寄付金は、拝殿の床と建具、賽銭箱の修繕なされました。

復旧復興が為されていない寺院・神社が多い地域コムニティ拠点への公的な支援スキームがない東日本大震災においては、

復興応援団だより

2013.4.1/ N013
発行元：
一般社団法人
復興応援団
広報チーム
022-393-9331

復興応援団とは

私たち「一般社団法人復興応援団」は、地元の方々とつながった東北が元から刀物で刈り取つことなく、漁師・高橋直哉さんのお手伝いをしました。開催しました。今回のプロジェクトには23名が参加し、南三陸町泊浜で

がえる人と人のつながりをつくり、地域の魅力をアピールするという貴重な体験をすることがで

ます。実際に取扱いボランティアを実施していきます。実際に海に出てわかめを収穫すると、その場で体験をすることができます。元から刃物で刈り取つて、実際に海に出てわかめを収穫するところが、この活動の目的です。実際に海に出てわかめを収穫するところが、この活動の目的です。

私たち「一般社団法人復興応援団」は、地元の方々とつながった東北が元から刀物で刈り取つことなく、漁師・高橋直哉さんのお手伝いをしました。開催しました。今回のプロジェクトには23名が参加し、南三陸町泊浜で

がえる人と人のつながりをつくり、地域の魅力をアピールするという貴重な体験をすることがあります。実際に海に出てわかめを収穫するところが、この活動の目的です。



3月9日、10日に
第17回農業で被災者
雇用応援プロジェクトを
開催しました。成澤さん
さんは着物の仕立て師
として働いていました。

3月9日、10日に
第17回農業で被災者
雇用応援プロジェクトを
開催しました。成澤さん
さんは着物の仕立て師
として働いていました。

3月9日、10日に
第17回農業で被災者
雇用応援プロジェクトを
開催しました。今回の
主な作業はトマト苗
へのひも付けです。前
回のプロジェクトで定
植して、少し背丈
が伸びてきました。
今後トマトの苗を、上
から吊るしたひもと
結びつける作業です。
すぐ育つのに欠かせま

3月9日、10日に
第17回農業で被災者
雇用応援プロジェクトを
開催しました。成澤さん
さんは着物の仕立て師
として働いていました。

3月9日、10日に
第17回農業で被災者
雇用応援プロジェクトを
開催しました。成澤さん
さんは着物の仕立て師
として働いていました。



3月9日、10日に
第17回農業で被災者
雇用応援プロジェクトを
開催しました。成澤さん
さんは着物の仕立て師
として働いていました。

農業で被災者雇用応援プロジェクト

成澤さんは昨年
の10月、南三陸町戸倉に定食
屋「ほつたて小屋」をオーブン
しました。提供される料理はす

べて手作り、新鮮な南三陸の海
の幸を存分に堪能できます。

震災前、成澤さんは着物の仕

立て師として働いていました。

協女性部の活動で得た人脈を

活かし、南三陸の幸を提供す

る定食屋「ほつたて小屋」を始

めることを決め初めでの定食屋

ルハウスでお手伝いをしました。

今回、主な作業はトマト苗

の仕入れ量を、客足を予測して

測して調節する

ことが大変です」。

初めての定食屋といつた家庭料

柔軟に対応します。

客層が「自分で1歩を踏み出さない

と自立はできま

せん。自分の好きなことを見つ

け、勇気を出し

ます。

成澤さんが「ほつたて小屋」

のオーブンと共に踏み出した1

歩は、「ほつたて小屋」を訪れた人たちの「お

機を迎えた成澤さんが

「ほつたて小屋」と共に歩く

なりました」といふりだし

ています。

3月21、22日に40人の高校生が宮城に

やってきました。

「復興ビジネススター

デイツア」という名のこの企画は、愛

知の高校生の「震災の風化を防ぎたい

という思いから実現しました。ツアーニ

は被災地、石巻・女川の高校生も参加し

ました。

参加者は、復興応援団のコーディネー

トマトプロジェクトを通じて小野花匠園さん

とトマトのファンづくり

を行いました。

二日目は、現在収穫最盛期のワカメの加工作業のお手伝い

をし、「よりたくさんのワカメを売るには

というテーマでアイデアを出し合いま

した。参加者からは

おらほのヒトモノ

ます。が続きます。経営に試行錯誤

なりました」。地元の人が継続的に来てもらいたいと言った成澤さん。

成澤さんは、地元漁戦でした。「魚

が、それで戦で勝りました。成澤さん

は、地元漁戦で成澤さん

は、地元漁戦で成澤さん

は、地元漁戦で成澤さん

は、地元漁戦で成澤さん

は、地元漁戦で成澤さん

file7 成澤英子さん＝南三陸町戸倉「ほつたて小屋」店主

○ホットサロン

○農業で被災者雇用応援プロジェクト#19

○漁業&ブルーツリズム開発応援プロジェクト#18

